

こおりやまSDGsアクセラレータープログラムとは

こおりやま広域圏内の社会・地域課題を解決する事業アイデア・サービスを持つ起業家や国内外へ事業拡大を目指す起業家など広く募集し、さまざまなサポートを実施するプログラムです。厳正なる審査の結果、採択者10件、準採択者2件を決定しました。



こおりやま広域圏

郡山市・須賀川市・二本松市・田村市・本宮市・大玉村・鏡石町・天栄村・磐梯町・猪苗代町・石川町・玉川村・平田村・浅川町・古殿町・三春町・小野町

対象者

こおりやま広域圏に住所又は主たる事業所を有する方で

- ① こおりやま広域圏内の社会・地域課題を解決する事業アイデア・サービスを持つ事業者
- ② こおりやま広域圏から国内外へ事業拡大を目指す事業者

①②いずれの場合も、以下のいずれかに該当すること

起業希望者 起業10年未満の起業家 創業10年未満のベンチャー企業 新規事業の立上げ または 第二創業を目指している中小企業

採択者向け支援メニュー

- ① メンタリング支援（事業プランのブラッシュアップ）
- ② ブラッシュアップ講座への参加（全6回/オンライン受講）
- ③ キックオフイベント・成果報告会での発表機会の提供
- ④ 地域との関係づくりのコーディネート支援
- ⑤ 販路拡大の活動を最大10万円支援（事務局による経費負担）

ブラッシュアップ講座

- | | |
|-----------------------|---|
| 第1回 「コレクティブインパクトの作り方」 | 講師：須藤 順 氏（高知大学 地域協働学部 准教授） |
| 第2回 「経営戦略/組織マネジメント」 | 講師：原 亮（エイチタス株式会社 代表取締役） |
| 第3回 「マーケティング/ブランディング」 | 講師：釘持 勝 氏（eResort 代表） |
| 第4回 「戦略的会計/事業計画」 | 講師：山崎 直彦 氏（山崎税理士事務所 所長税理士） |
| 第5回 「DX/テック活用」 | 講師：市川 博之 氏（市川電産 CEO・シビックテックラボ 代表理事・東京造形大学 特任教授） |
| 第6回 「資金調達」 | 講師：小田 恭央 氏（SSS 合同会社 CEO） |

キックオフイベント

2022年10月13日(木) 13:00~16:00

採択された起業家による10件の社会課題解決プロジェクトの概要紹介と、こおりやま広域圏での課題解決の実践に向け、参加者も含めた連携や協業を考える場として開催しました。

こおりやま社会起業家ミートアップ ~SDGsに取り組む起業家の成果報告会~

2023年3月16日(木) 13:30~17:30

社会的な変革を目指す人々が集まり、互いにつながり、情報やアイデアを共有し、協力して問題解決に取り組むためのネットワークづくりを目指したミートアップイベントです。

採択された10名の社会起業家による活動報告を実施。彼らを支援し、共に成長していくために、各地の自治体や支援機関、社会的企業、非営利団体、支援者等の方々を参加対象として、社会的な課題に取り組むために必要な情報やリソースを共有し、協力してこおりやま広域圏の社会課題解決の実現を図るためのつながりを創る場として開催しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



主催：郡山市
協力：こおりやま広域圏の市町村
企画運営：エイチタス株式会社

こおりやまSDGs アクセラレータープログラム 第2期

— 成果報告 —



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

令和4年度社会起業家加速化支援プログラム

<https://entre-koriyama.com/>



こおりやまSDGsアクセラレータープログラム


第2期【採択者・準採択者】

採択者 10名
準採択者 2名

① こおりやま広域圏内の社会・地域課題を解決する事業アイデア・サービスを持つ事業者

② こおりやま広域圏から国内外へ事業拡大を目指す事業者

<採択者 10名>

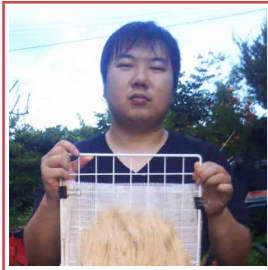


安齋 由香理 / 郡山市

外来カミキリバスターズ

郡山市内にて日本未確認の外来カミキリを発見し、以降、防除に奔走している。分布拡大を阻止するため郡山市や周辺市町村、さらに隣県とも連携し、成虫の捕殺、被害木伐採などの活動や、農家への周知、啓発を行っている。市民を巻き込んだ活動も視野に入れ、福島県の生態系を守りたい。

プログラム期間中の実践内容 他地域視察等の情報収集・研究およびPR素材整備を含む地域への周知活動




大越 雄太 / 郡山市

稲を繊維作物として最適化すると何個か社会課題を解決できる

稲から植物性天然繊維を作るため、栽培効率化、加工方法の追及、試作を行ってきた。稲を繊維作物として最適化することで、コメの需要減少による収入低下、耕作放棄地の増加、補助金依存の3つの社会課題を解決したい。さらに安定的な国産天然繊維の栽培地として、地域の雇用創出に寄与したい。

プログラム期間中の実践内容 商品企画のため調査プロトタイプ制作およびビジネスモデルのブラッシュアップ




大島 草太 / 株式会社 Kokage 代表取締役 / 田村市

アップサイクル商品の開発を通じた若者による持続的な地域づくりプロジェクト

耕作放棄地でのハーブ栽培と、規格外フルーツを使ったお茶「Tea&Things」を福島県の新たな商品として販売している。農家の所得向上及び廃棄フルーツの削減、消費者と生産者のつながり、さらに県内学生との取り組みによってビジネスを通じ若者が地域に関わる仕組みを目指している。

プログラム期間中の実践内容 新規商品のリリースにともなうユーザーインタビュー等の顧客開発および販路拡大




後藤 正人 / 御稲プライマル株式会社 代表取締役 / 本宮市

県中地域の地域循環型農作物の集荷・販売改革プロジェクト

農業のあり方を転換し、地域内の農作物の共同納品・出荷の仕組み作り、包装業務の外注化による農家の負担軽減と障がい者の雇用創出にチャレンジしている。農産連携を実現することで、自社のみならず地域内の農家の販路拡大や利益向上、障がい者雇用につなげ、循環型の仕組みの構築を目指したい。

プログラム期間中の実践内容 サービス内容の企画検討を含む実証実験の準備および専門家とのマッチング




小林 澄子 / 猪苗代町

こけしのリブランディングと廃材を活用したアップサイクルの検討

猪苗代町中ノ沢温泉で生まれた「中ノ沢こけし」の職人修行の傍ら、中ノ沢こけしの原料となる木の伐採を通じ、自然との共生、職人の技術などを伝えることで製品の価値を再構築する。地域住民を含め広く新しい層にも愛される存在にしたい。また、端材を利用した木工製品の開発など、広域圏内事業者との協業も行っている。

プログラム期間中の実践内容 独立開業の準備および提供価値拡大のための他地域、異業種との関係構築

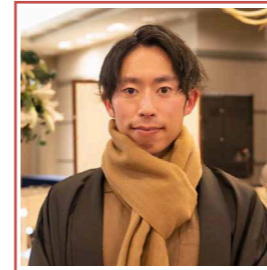


添田 麻美 / 一般社団法人 Oval 代表理事 / 郡山市

日常の便利、もしもの備えに「もしもゴハン」 - 日常に溶け込む防災 -

震災経験や小さな子どもを持つママと立ち上げた「ママカラ防災」の活動を展開。心の防災・考え方の防災・子どもを守れるママになるをコンセプトに、防災意識啓発や災害に強いまちづくりを目指し活動している。組織体制も刷新し、今後は講座、ファシリテーター育成などより積極的に活動していきたい。

プログラム期間中の実践内容 活動の発展を目指すための組織体制の整備および活動方針の再検討




長友 海夢 / 株式会社いなびし 代表 / 猪苗代町

猪苗代湖の厄介者を観光資源に転換！～持続可能な水環境保全事業に向けて～

猪苗代湖で厄介者とされていた菱(ひし)を産業に転換すべく「ひし茶」の開発販売、収穫の体験コンテンツ化などを行っている。地域資源である猪苗代湖の水質改善とともに、持続可能な水環境保全事業、地域産業と雇用創出、さらに成功事例を作ることで地域で挑戦する若者を増やしていきたい。

プログラム期間中の実践内容 商品の機能性評価を含む提供価値の検討および販路拡大に伴うPR素材整備




松崎 一 / 特定非営利活動法人アニボウ 代表理事 / 郡山市

障がい者および若年無業者向けのアニメ制作を通じた職業訓練・就労支援事業

代表が30年以上アニメーターとして第一線で活躍してきた経験を活かし、障がい者や若者向けの職業訓練によって技術継承と社会参画、雇用創出を目指し法人設立した。子ども向けアニメ制作体験、若者向け職業訓練などを実施。法人の方向性と実態の乖離を解決しながら、活動を続けていきたい。

プログラム期間中の実践内容 アニメーター育成のための人材育成と評価制度の設計およびアニメ教室の開催




横尾 恵美 / しゅふコミ 代表 / 郡山市

主婦の力を活用し福島県を盛り上げる！地域の全ての人々が住みやすい福島県を目指して。

「しゅふ」の力を活かし社会と繋がる仕組みを作りたいと、親子向けイベント、県内19市町村との冊子制作、企業との商品開発マーケティング等を実施。2018年より活動する中で本格的な事業化、収益化のフェーズを迎えている。今後はマタニティ用品販売、カフェ運営にもチャレンジ予定。

プログラム期間中の実践内容 ソーシャルインパクトの設計に基づいた事業の実装の検討と実践内容の拡大



和田 晃司 / 株式会社米ッ人(仮) / 須賀川市

稲作農家支援アプリ「米ッ人」の提供

稲作に特化した稲作農家支援アプリ「米ッ人」を開発。稲作農家の作業効率の向上と、データドリブンな経営による利益率向上を支援し、稲作農家を元気にするため、開発を進めている。自治体×農業DXを目指し、県産米のPRやお米の消費喚起と合わせ、価値ある稲作農家を未来へ繋ぎたい。

プログラム期間中の実践内容 提供価値とビジネスモデルの検討およびサービス実装までの事業計画の策定

<準採択者 2名>

橋本 奈美恵 / みんなの学校 / 郡山市

リユースで優しい社会をつくる ～つなげれば社会が変わる～

満井 みさ子 / ハーベストカフェ / 郡山市

若年性認知症の方や社会参加したい人が安心して仕事ができるワークコミュニティ

氏名 50 音順

氏名 50 音順